

狭い場所で活躍するコンパクトなミニ・クローラークレーンを動画で紹介

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）は、ユニック部門の主力製品であるミニ・クローラークレーンを紹介する動画「【社会課題を解決】狭い場所で活躍するミニ・クローラークレーン編」を制作し、YouTube に公開しました。



「【社会課題を解決】狭い場所で活躍するミニ・クローラークレーン編」

本動画について

資材を運ぶことが多い土木・建築現場では、クレーンは欠かせない存在です。しかし、クレーン車やトラック搭載型クレーンでは、狭い場所や屋内に入ることができません。こうしたお客さまの課題解決にコンパクトなミニ・クローラークレーンが活躍します。本動画では、欧米を中心にグローバルに活躍の場を広げているミニ・クローラークレーンについて、その機能性や CO₂ を排出しない「バッテリー式」モデル等の製品ラインナップを紹介するとともに、様々な現場での活用事例を、約 3 分半の動画でわかりやすく紹介しています。お客さまのニーズに応え続けるミニ・クローラークレーンの活躍を、ぜひご覧ください。

当社グループは、引き続き、社会課題を解決し、お客さまのニーズに応える製品・技術・サービスを、ステークホルダーの皆さまにわかりやすく紹介し、社会に必要とされる企業であり続けるための取り組みを、さまざまなツールを通じて PR していきます。

「【社会課題を解決】狭い場所で活躍するミニ・クローラークレーン編」はこちら

<https://youtu.be/rg4kSRtcliU>

【社会課題を解決】シリーズ動画

- ・ベルトコンベヤによる土砂搬送編 | 古河機械金属 PV
<https://youtu.be/3zQSXwDh04A>
- ・巨大重機・ドリルジャンボでトンネル掘削編 | 古河機械金属 PV
<https://youtu.be/1tDy0vfI2So>

ミニ・クローラークレーンとは

コンパクトなボディでトラックが入り込めない狭い場所や不整地、屋内作業現場で威力を発揮する自走式クレーンです。小型トラックの荷台に横積み可能な非乗車型モデルから、世界最大の吊り上げ能力を誇る 10t 吊りの乗車型モデル、環境に配慮した完全電動モデルなどラインナップしています。

※「ミニクロ」は、古河ユニック株式会社の登録商標です。



【補足資料】

■ 関連リリース

・2024 年 7 月 10 日発表「小中学生向けキャリア教育教材「おしごと年鑑 2024」に協賛」

<https://www.furukawakk.co.jp/info/assets/pdf/oshigotonenkan2024.pdf>

■ 会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉦山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治 8）年 8 月

設立：1918（大正 7）年 4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,855 人 〈単独〉208 人 [2024 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp>

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山川 賢司

事業内容：1961 年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る・積む・運ぶ・作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニ・クローラークレーンなどの製造・販売を行っています。

設立：1946（昭和 21）年 4 月

資本金：2 億円

従業員数：427 人 [2024 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawaunic.co.jp/>